



- に 人間性豊かで
- い 命を大切にし
- ぬ めくもいあふれる心と
- ま 学びの力をもつ子ども

令和4年度 No.19 R 4.12.12(月) 文責：大鷹

この味忘れない！原田シェフの食育授業

12月6日(火)、創立150周年並びに閉校記念事業の一環として、同実行委員会事業部が主催する「原田良一シェフの食育学習」が行われました。原田シェフは、言わずと知れた、千厩町の「レストランあさひや」のオーナーシェフです。閉校を迎える本校児童の思い出になればと、今回の事業を引き受けてくださいました。

食育学習は前半の「味覚の教室」と後半の「デザートプレート・スープ作り」で行われました。「味覚の教室」では、塩・砂糖・酢・チョコレート・グミを口にしながら五味五感について学びました。子供たちは今がちょうど味覚の成長期とのこと。大人になるまでに、様々な味を味わい味覚を発達させることの大切さを学びました。

後半は5・6年生児童が原田シェフの指導を受けながらリンゴとサツマイモのクレープとプリンデザートプレート、そしてポトフをつくりました。もちろん大体はシェフが下ごしらえをしたものです。サツマイモは学校の畑で収穫したもの、その他の食材は保護者の皆様に持ち寄っていただいたものです。また、スープに使う羊肉を、萩荘にお住いの下大桑ヒツジ飼育の会・桂田勝浩さんに提供していただきました。ありがとうございました。50を超える人数分を用意するのは大変でしたが、シェフの手ほどきを受けながら調理をできたのは貴重な経験になりました。

その後はお待ちかねの会食です。シェフとともに作った繊細な味の料理に舌鼓を打ち、みんなでおいしいものを食べる喜びを確かめ合いました。何年たっても、この味の思い出は忘れません。原田シェフ、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。





赤い羽根 共同募金

11月29日(火)の児童朝会の際に、同月1日・2日の二日間に行った募金活動で集まった赤い羽根共同募金を、一関市社会福祉協議会藤沢支部の方におわたししました。集まった金額は14,578円でした。当日は、同会の支部長・佐川勝弘様にお越しいただき、計画委員会より募金の入れ物を手渡しました。ずっしり重い募金箱を手に、佐川支部長からは「社会福祉協議会は、障がいのある方や一人暮らしのお年寄りなど、支援が必要な方が安心して暮らせるように仕事をしています。人を思いやり支え合う活動に、この募金を活用します。」とご挨拶いただきました。一人一人の真心が、支援が必要な方々につながるのはこの上ない喜びです。子供たちとともに、ご理解ご協力いただきましたご家庭の皆様、ありがとうございました。



すごいよ すごいよ 発電所見学

11月30日(水)、「2022東北電力エネルギーチャレンジ校」の取り組みの一環で、4～6年生が一関市巖美町にある磐井川発電所を見学し、水力発電の仕組みを学びました。この施設で、数千世帯の電力を賄っていることを知り驚くとともに、貯めておけない電気は、大事に使わなければならないという意識を以前よりも強くもったようでした。各家庭において、節電という形で当日の学びを実生活につなげてほしいと思います。



健康な歯をフォーエバー

11月28日(月)の5校時、千葉歯科医院より歯科衛生士の時田文枝さんをお招きし、1・2・3年生を対象に歯みがき教室を行いました。時田さんには、絵や巨大な模型などを使いながら歯を上手に磨くコツを教えてくださいました。その後に歯の染め出しを行い、どんなところが汚れやすいかを確認しながら、自分たちで実際に歯を磨く練習を行いました。子供たちはしっかり磨けばきれいになることを実感しながら、同時に、だ液の大切さや歯周病の怖さなども学びました。千葉歯科医院さんには、本校の歯の健康に関わり長くご指導いただきました。本当にありがとうございました。子供たちは、これからも自分の歯を大事にしていくことでしょう。

